

# 要注意!!

## サクラの害虫 クビアカツヤカミキリ

奈良県内で、特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害が確認されています。

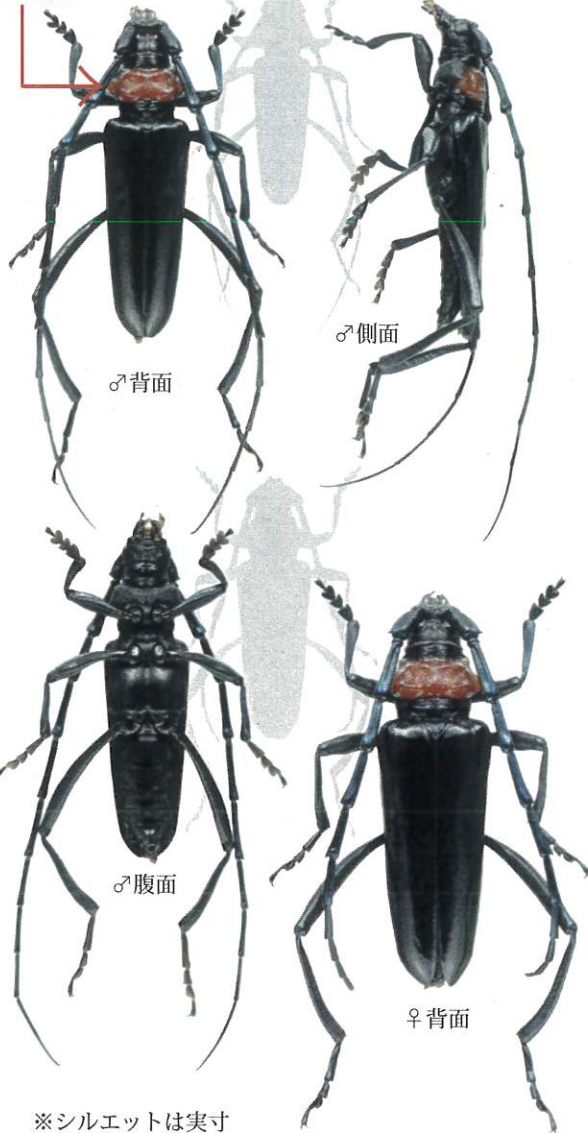
クビアカツヤカミキリは、サクラ、ウメ、モモなどの木の内部を食い荒らし、樹木を枯らしてしまふこともあります。

被害を拡大させないために、成虫、フラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）を見かけたら**駆除**と**情報提供**をお願いします。

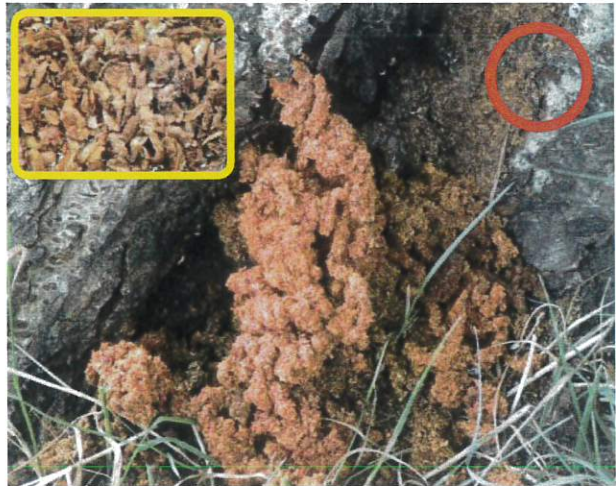
### 成虫の特徴

- 全体に光沢のある黒色で胸部が赤い
- 体長は 2.5 ～ 4 cm
- 活動期は 5 月末～ 8 月末

ここが赤い



※シルエットは実寸



クビアカツヤカミキリの幼虫が出すフラス  
枠内・指ですりつぶしてルーペで見ると、繊維質が無い



良く似たフラス（他のカミキリ）  
枠内・指ですりつぶしてルーペで見ると、繊維質が多い

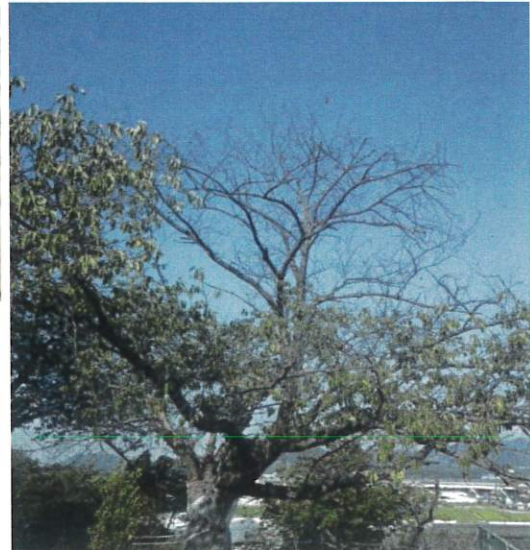
### 被害木の特徴

- 被害樹種は主にサクラ、ウメ、モモなど
- うどん状のフラスが大量に排出される
- フラスが出る時期は 4 月末～ 10 月末



クビアカツヤカミキリ成虫の脱出孔  
(縦長、長径2～3cm)

古い脱出孔



枝の一部が枯れたサクラ

被害初期は一部の枝が枯れることが多い

幼虫

○クビアカツヤカミキリとは？

コウチュウ目ハムシ上科カミキリムシ科

自然分布＝中国、モンゴル、朝鮮半島、ベトナム

被害＝サクラ、ウメ、モモなどの樹木に産卵、

幼虫が幹内部を食害し、樹木を弱らせ、枯死させることもある。

クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されているため、生きたままの運搬や販売、飼育、野に放つこと等が禁止されています。



背面

頭部

尾端

○成虫を見つけたら・・・

成虫はその場で踏みつぶすなど駆除してください。

○フラスを見つけたら・・・

幼虫が侵入した穴に薬剤を注入するなど、対策が必要です。伐倒する必要がある場合もあります。

※成虫、フラスを発見した場合は、最寄りの市役所・町村役場へお知らせください。

お問い合わせ先

最寄りの市役所・町村役場

奈良県 景観・自然環境課 Tel：0742-27-8757